
2015年3月期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2015年5月15日

2015年3月期 決算報告

2016年3月期 見通し

2015年3月期 実績	
市場環境	<p>北米 全般的な回復基調が継続し、好調</p> <p>日本 民間の設備投資の需要が回復し堅調に推移</p> <p>中国 景気減速が続き、需要も低調に推移</p> <p>アジア 中国の減速とタイ情勢が影響</p> <p>為替 平均レートは 1ドル=109.9円</p>
業績	<p>売上高 : 499億円(前期比 +19.4%)</p> <p>営業利益 : 33億円(前期比 △15.2%)</p> <p>当期純利益 : 20億円(前期比 △14.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> — 中国・アジアの減速を、好調な北米事業がカバー — 下期よりピアレス社が、売上面で寄与 — 日本は、民間の設備投資の需要が回復し堅調に推移 — 中国は、景気減速が続き、需要も低調に推移 — アジアの収益性の悪化が想定以上に大きく、減益に
取組	<p>製品品揃えの強化</p> <p>新市場・新分野の開拓</p> <p>M&A戦略の加速</p> <p>国内流通制度の改革</p>

2015年3月期 決算ハイライト

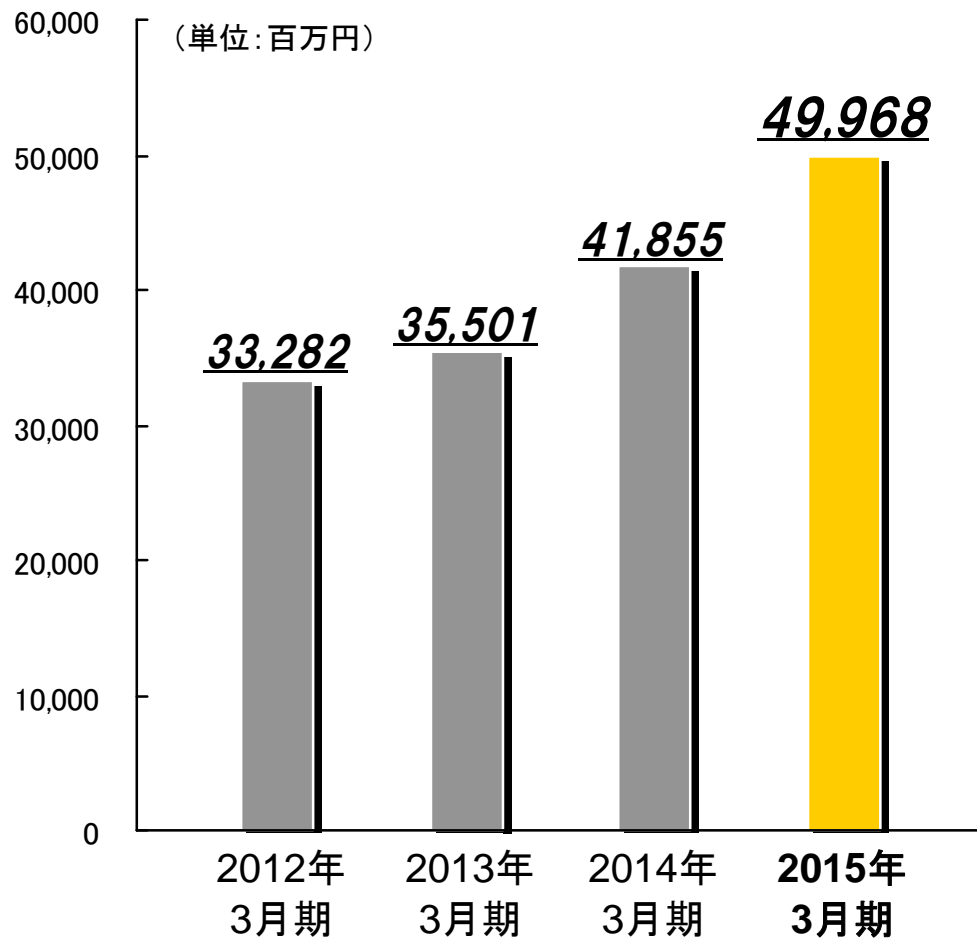
(単位：百万円)	2014/3期			2015/3期		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	41,855	100.0%	17.9%	49,968	100.0%	19.4%
営業利益	4,006	9.6%	59.6%	3,395	6.8%	△15.2%
経常利益	4,094	9.8%	67.7%	3,423	6.8%	△16.4%
当期純利益	2,361	5.6%	130.8%	2,026	4.1%	△14.2%
EPS	91.25円	-	-	77.52円	-	-
ROE	12.3%	-	-	8.9%	-	-
設備投資額	2,440	-	-	1,408	-	-
減価償却費	954	-	-	1,311	-	-

注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円 → 109.9円 CAD 95.1円 → 96.5円 EUR 134.4円 → 138.8円 RMB 15.9円 → 17.2円

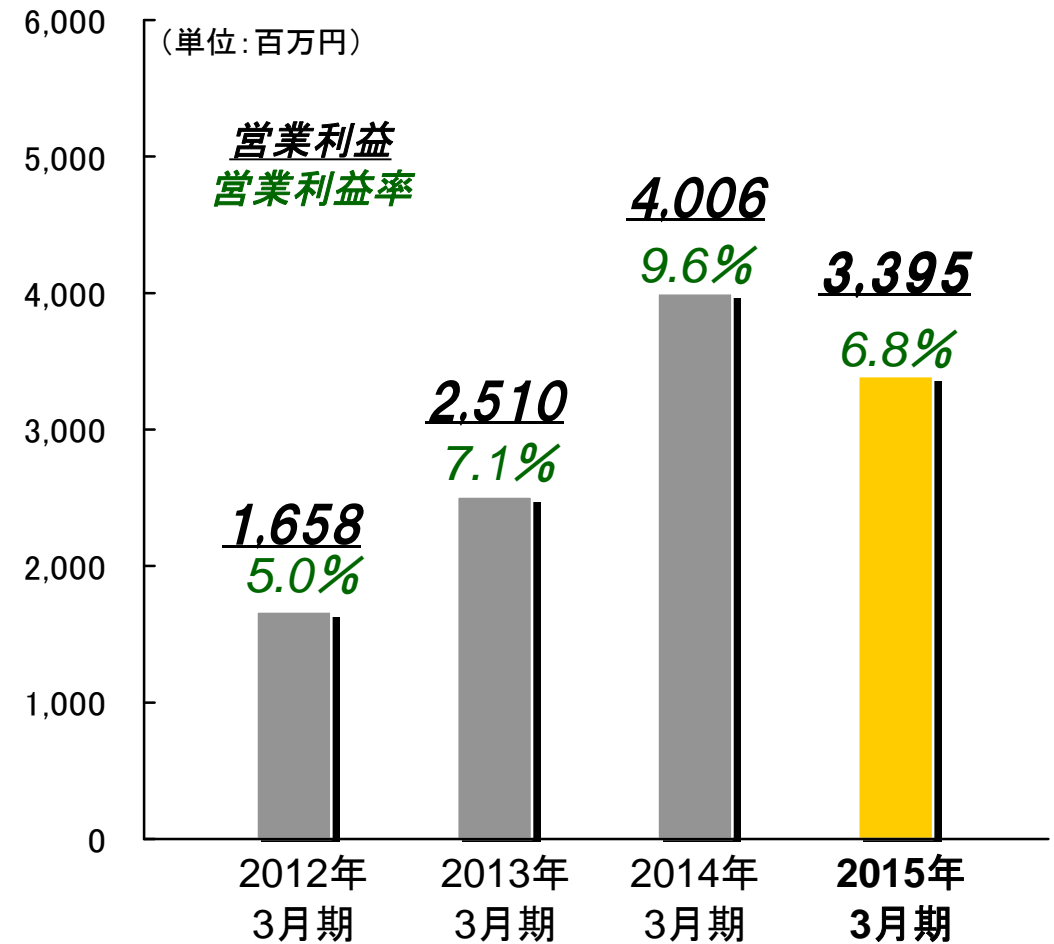
注 2014年3月期のEPSは、2014年10月1付で実施の普通株式1株に2株の割合での株式分割を反映させた数値です。

前期比19.4%と増収も、アジア事業の収益悪化などにより減益

売上高

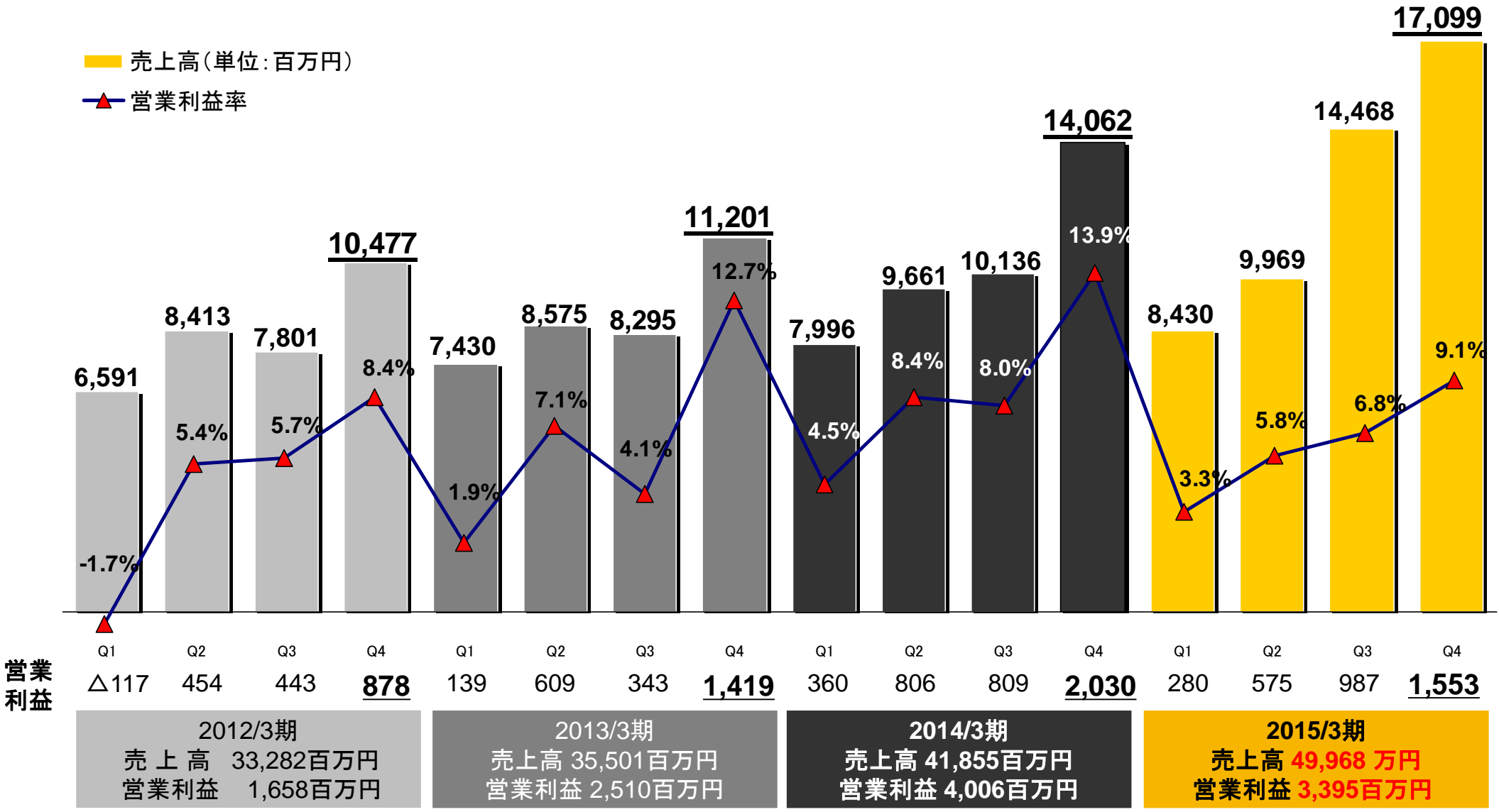


営業利益・営業利益率



売上高および営業利益率(四半期比較)

前年同期比19.4%の増収、好調な米州事業が寄与



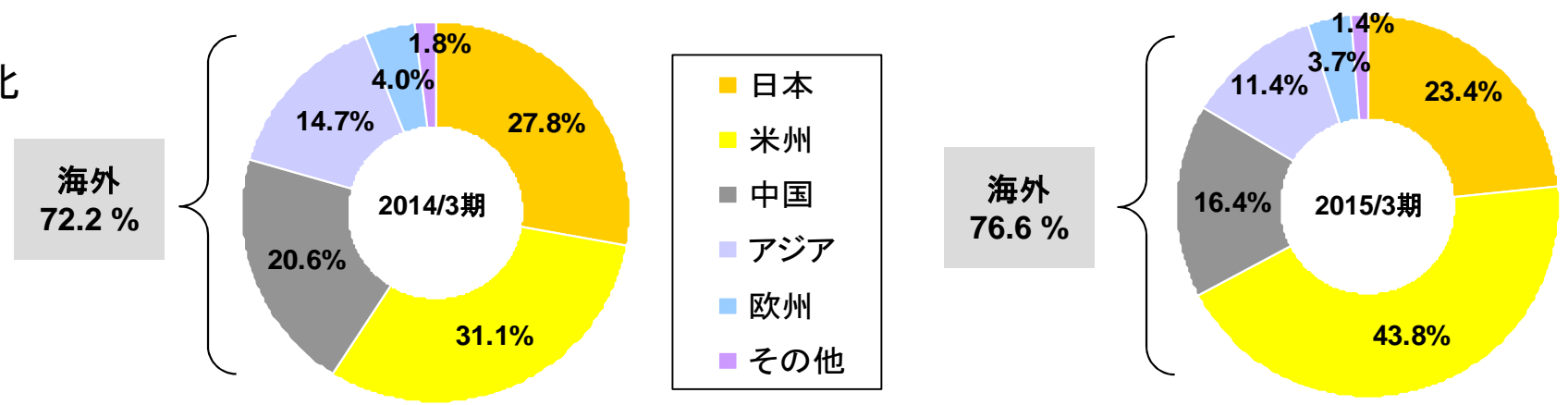
地域別の状況

グローバルな事業展開を引き続き促進、海外売上比率は約 77 %

(単位:百万円)	2013/3期		2014/3期		2015/3期		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	35,501	100.0%	41,855	100.0%	49,968	100.0%	8,137	19.4%
日本	11,679	32.9%	11,624	27.8%	11,702	23.4%	77	0.7%
米州	10,163	28.6%	13,034	31.1%	21,888	43.8%	8,854	67.9%
中国	6,994	19.7%	8,603	20.6%	8,198	16.4%	△405	△4.7%
アジア	4,626	13.0%	6,168	14.7%	5,676	11.4%	△491	△8.0%
欧州	1,286	3.6%	1,665	4.0%	1,823	3.7%	158	9.5%
その他地域	749	2.1%	759	1.8%	677	1.4%	△81	△10.7%

注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円 → 109.9円 CAD 95.1円 → 96.5円 EUR 134.4円 → 138.8円 RMB 15.9円 → 17.2円

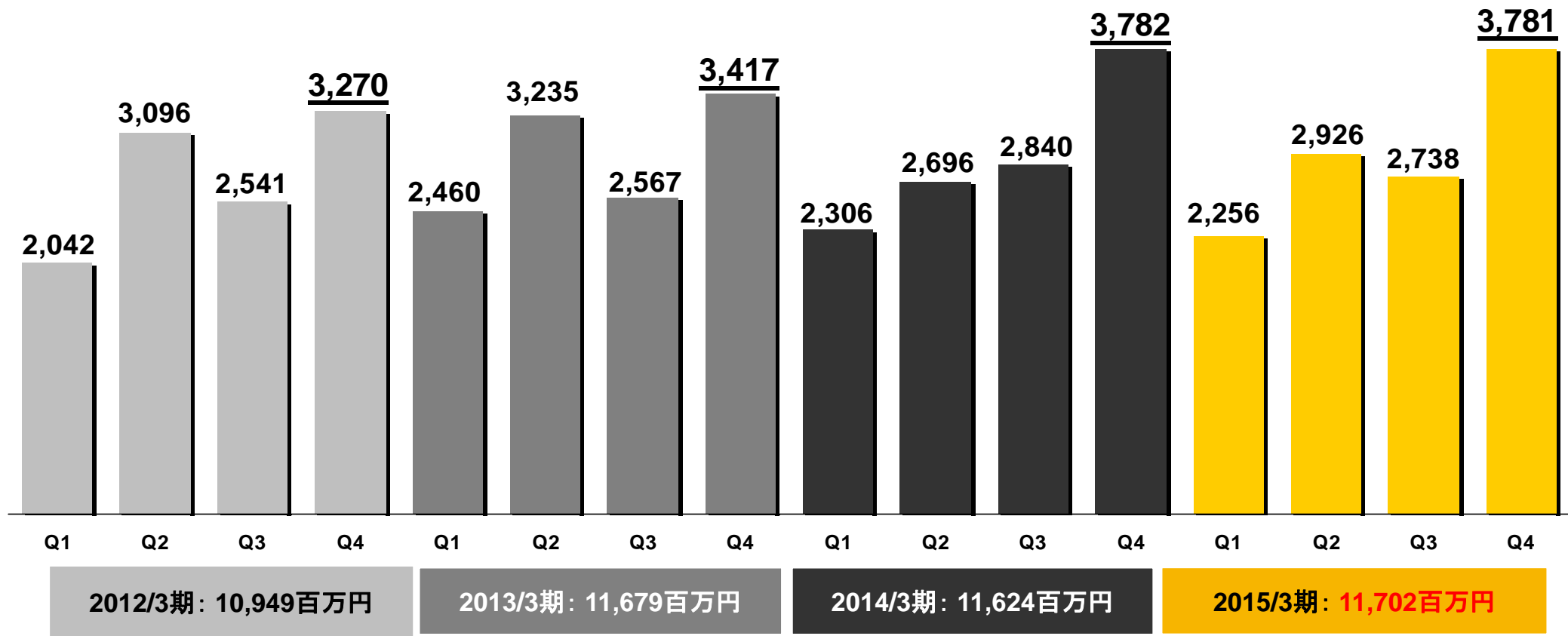
地域別
売上高構成比



地域別売上高(日本)

- 民間設備投資向けの需要は、ゆるやかな拡大基調が続く
- 建築土木の工事に若干の遅れが見られるが、需要は堅調

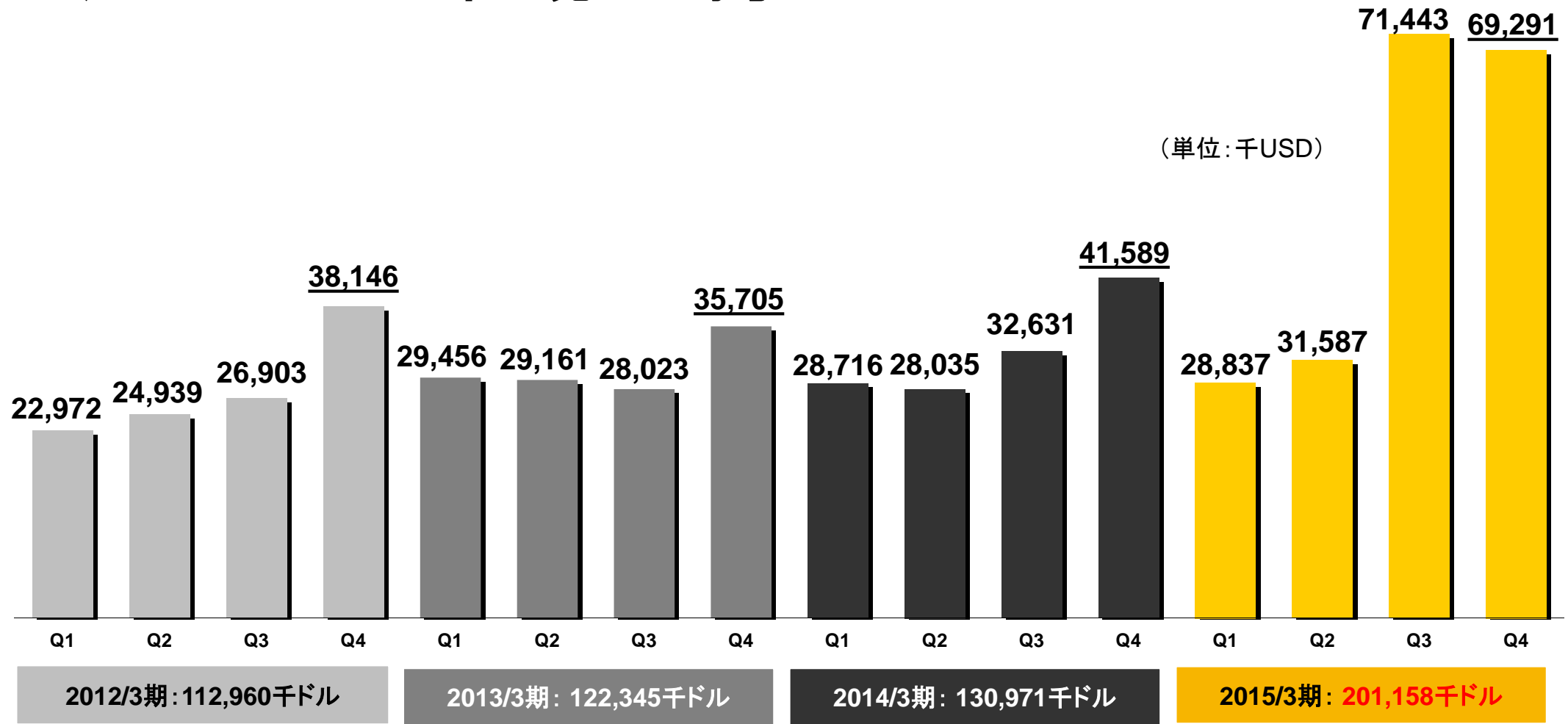
(単位:百万円)



地域別売上高(米州)

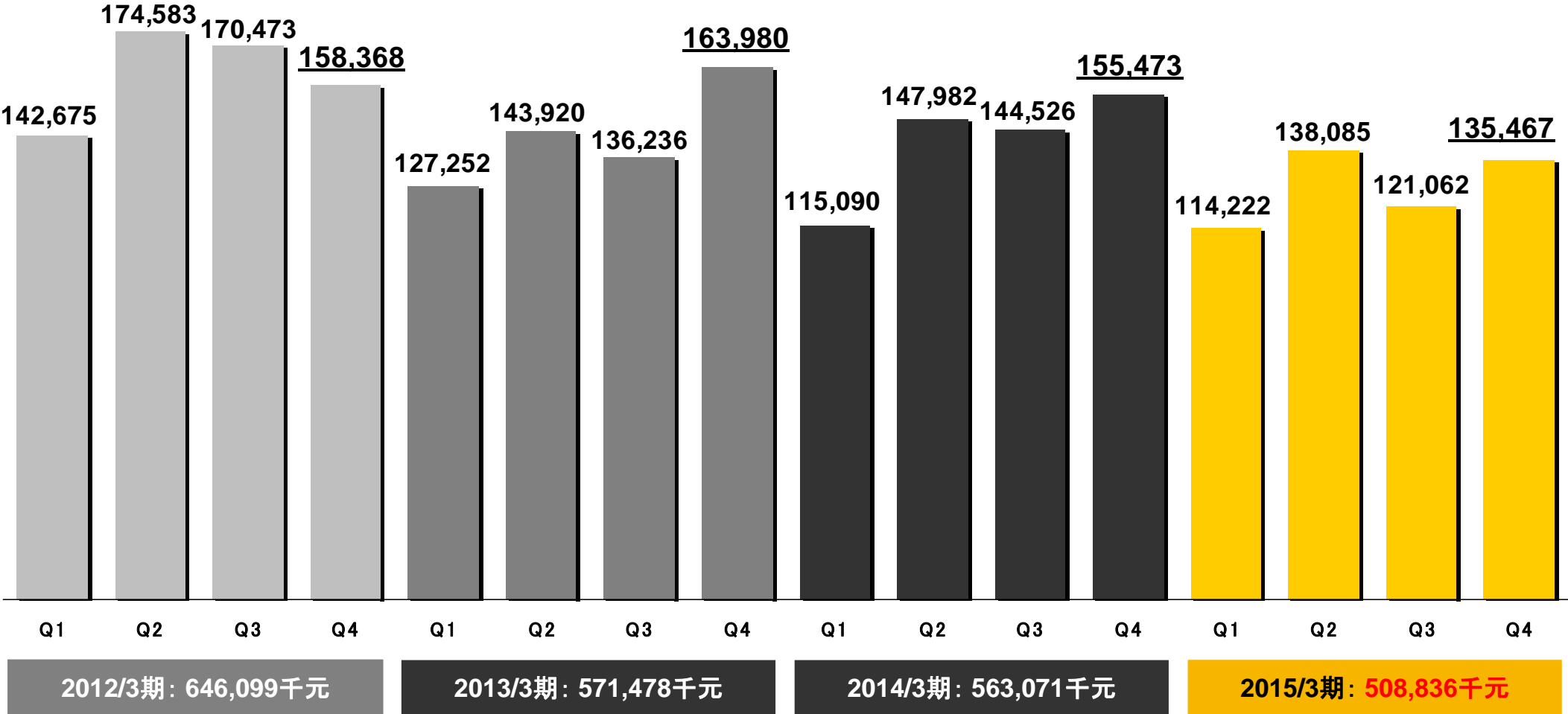
※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高(千ドル換算)を加算した金額の推移

- 米国は製造業ほか幅広い産業で、需要が堅調に推移。シェアは40%を超える
- 既存事業はカナダの天然資源向け需要の落ち込みを米国がカバーし 現地通貨ベースで 6.3 %増。
- Q3からPEERLESS社が売上に寄与



- 経済の減速が続き、景気の見通しは依然として不透明
- 製品の評価は高くシェアは拡大、市場の落ち込みによる影響を最小限に

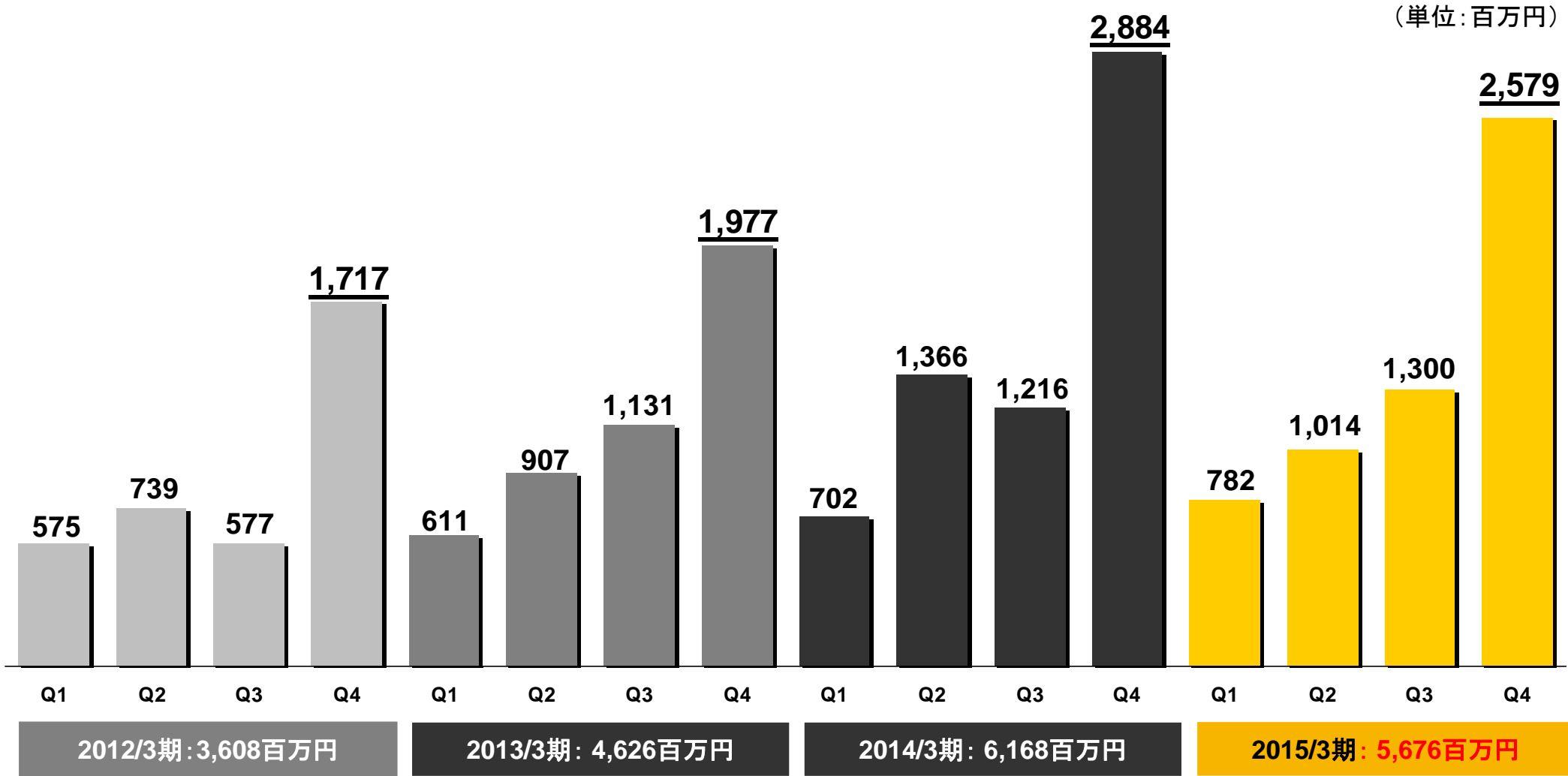
(単位:千RMB)



地域別売上高(アジア)

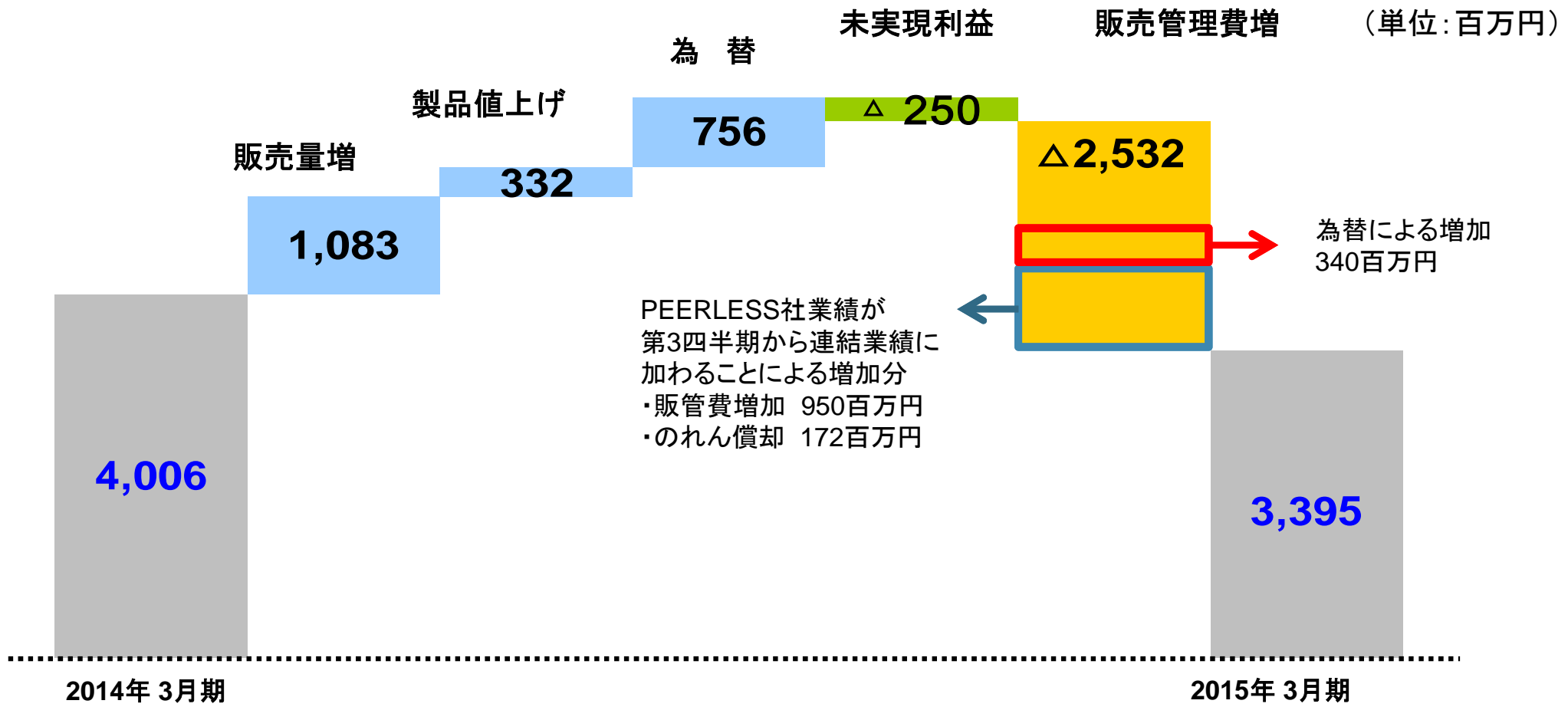
※タイ、韓国は1-12月決算

- 地域経済に不透明感あり、成長の勢いが鈍化
- タイの落ち込み大きく、前年比で 8.0% の減
- 大口物件の採算悪化により、収益減



当社計画に沿って 中計達成に向けた本部・子会社の体制を強化

未実現利益
 期末に向けて円安が進み、主に米国の在庫評価に関わる会計処理上の損失が発生。



2015年3月期 連結貸借対照表

単位:百万円	2014/3期	2015/3期	増減額
流動資産	27,920	40,478	12,557
現金・預金	6,230	9,792	3,561
受取手形及び 売掛金	9,414	12,593	3,179
たな卸資産	10,327	15,105	4,778
その他	1,948	2,986	1,037
固定資産	13,181	22,703	9,522
有形固定資産	10,003	12,161	2,157
無形固定資産	1,194	9,009	7,815
投資その他資産	1,982	1,532	△449
繰延資産	5	1	△4
資産合計	41,108	63,183	22,075

単位:百万円	2014/3期	2015/3期	増減額
流動負債	12,528	17,093	4,565
支払手形及び買掛金	5,249	6,113	863
短期借入金	2,621	5,319	2,698
その他	4,657	5,661	1,004
固定負債	6,576	20,464	13,888
社債	1,000	-	△1,000
長期借入金	2,805	16,025	13,220
その他	2,771	4,439	1,668
純資産合計	22,003	25,626	3,623
負債純資産合計	41,108	63,183	22,075

2015年3月期 決算報告

2016年3月期 見通し

日 本



市場環境

- 景気回復基調が持続、民間設備投資は緩やかに上昇
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大に期待

取り組み

- クレーンビルダーとの連携強化
- 新規分野の開拓強化(エンターテイメントなど)

米 州



市場環境

- 米国は幅広い産業で需要が堅調に推移
- メキシコ他、中南米に関しては引き続き需要拡大を見込む

取り組み

- 製品品揃えの拡大による市場競争力の強化
- 現地生産の拡大によりサプライチェーン最適化

中 国



市場環境

- 経済の減速傾向が続き、景気の不透明感は払しょくされず
- 東北・内陸部での潜在需要あり

取り組み

- 東北・内陸地域における販路拡大を継続
- 現地生産の拡大、製品強化による市場シェア拡大

ア ジ ア



市場環境

- 中国経済の減速が地域経済に影響し、設備投資の成長に鈍化
- 引き続き地域のマクロ情勢の見極めが必要

取り組み

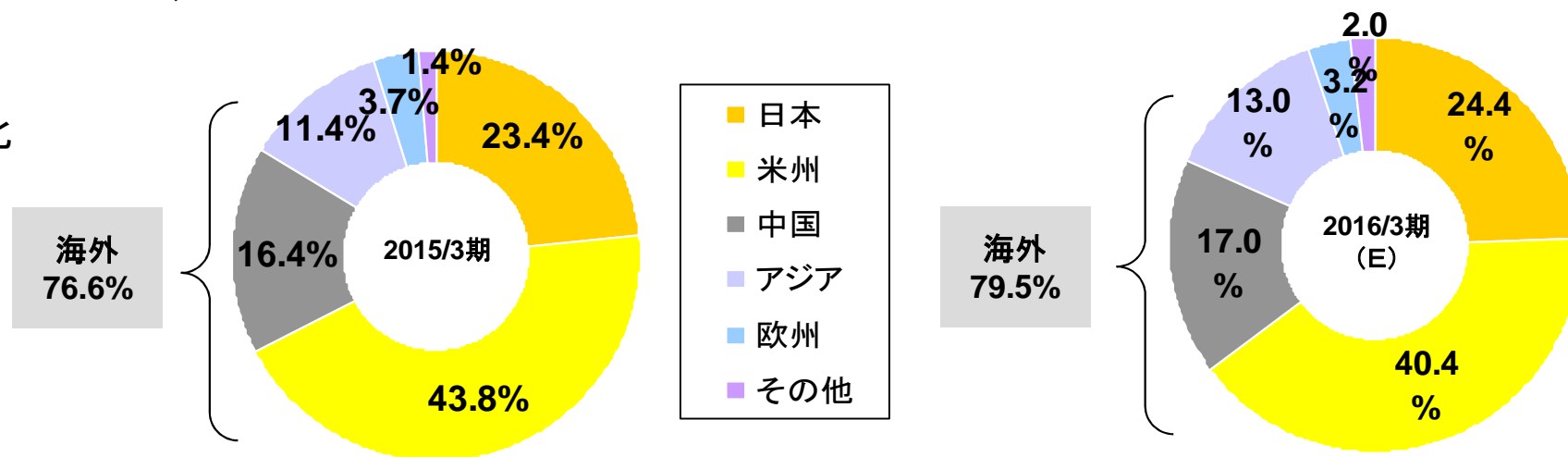
- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 利益管理の強化

2016年3月期 業績予想(地域別)

(単位:百万円)	2015/3期		2016/3期(E)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	49,968	100.0%	60,000	100.0%	10,031	20.1%
日本	11,702	23.4%	12,300	20.5%	597	5.1%
米州	21,888	43.8%	30,500	50.8%	8,611	39.3%
中国	8,198	16.4%	8,900	14.8%	701	8.6%
アジア	5,676	11.4%	5,700	9.5%	23	0.4%
欧州	1,823	3.7%	1,900	3.2%	76	4.2%
その他地域	677	1.4%	700	1.2%	22	3.3%

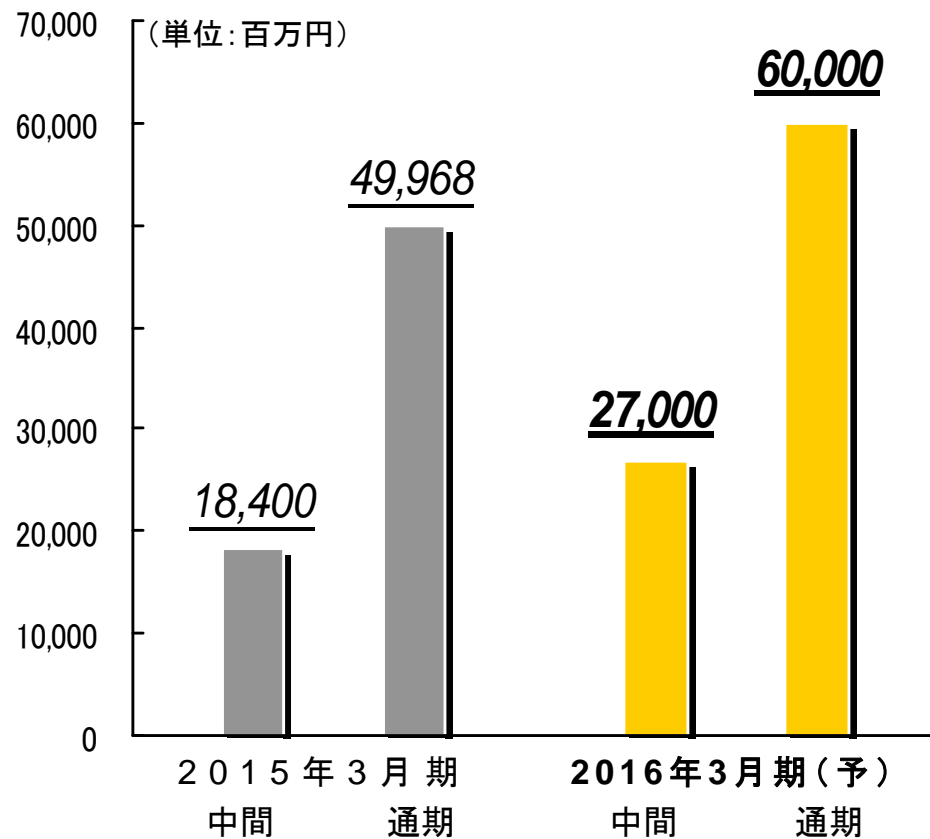
注 為替レート(2015/3期→2016/3期) : USD 109.9円→**115.0円** CAD 96.5円→**95.0円** EUR 138.8円→**130.0円** RMB 17.2円→**18.8円**

地域別
売上高構成比

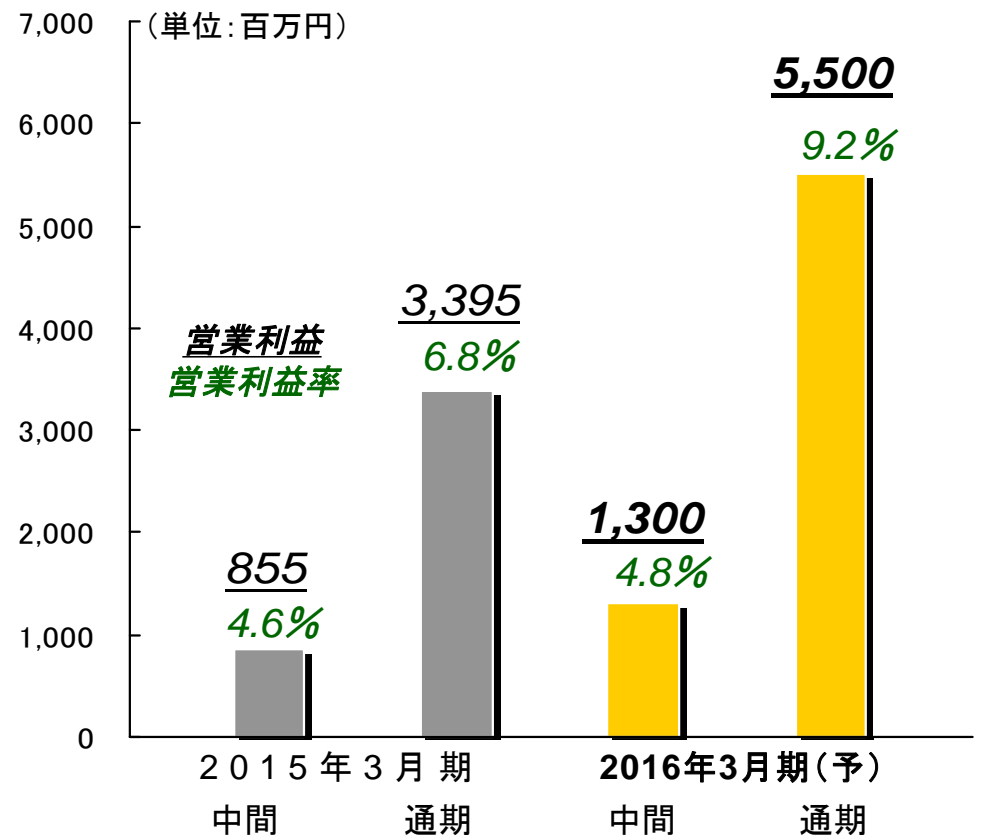


米州、国内市場が業績をけん引
中国・アジア市場の落ち込みを補い、売上高600億円に

売上高



営業利益・営業利益率



EPS、ROE ともに改善

(単位：百万円)	2015/3期			2016/3期(E)		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	49,968	100.0%	19.4%	60,000	100.0%	20.1%
営業利益	3,395	6.8%	△15.2%	5,500	9.2%	62.0%
経常利益	3,423	6.8%	△16.4%	5,000	8.3%	46.0%
当期純利益	2,026	4.1%	△14.2%	3,000	5.0%	48.0%
EPS	77.52円	-	-	114.36円	-	-
ROE	8.9%	-	-	≒12.2%	-	-
設備投資額	1,408	-	-	2,600	-	-
減価償却費	1,311	-	-	2,000	-	-

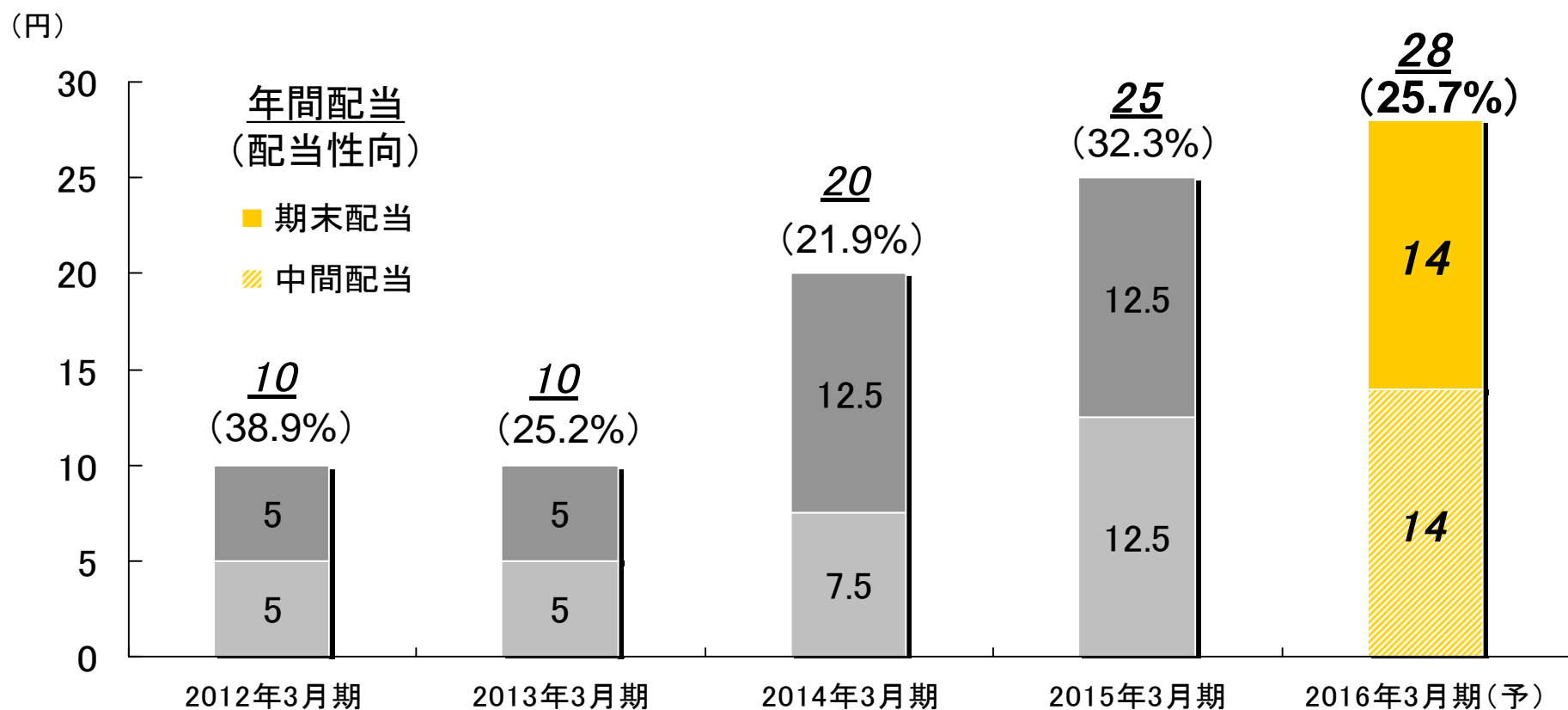
注 為替レート(2015/3期→2016/3期) : USD 109.9円→115.0円 CAD 96.5円→95.0円 EUR 138.8円→130.0円 RMB 17.2円→18.8円

株主還元方針／配当予想

株主還元方針

配当予想

配当性向20%以上を目処
2016年度は28円を予定



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

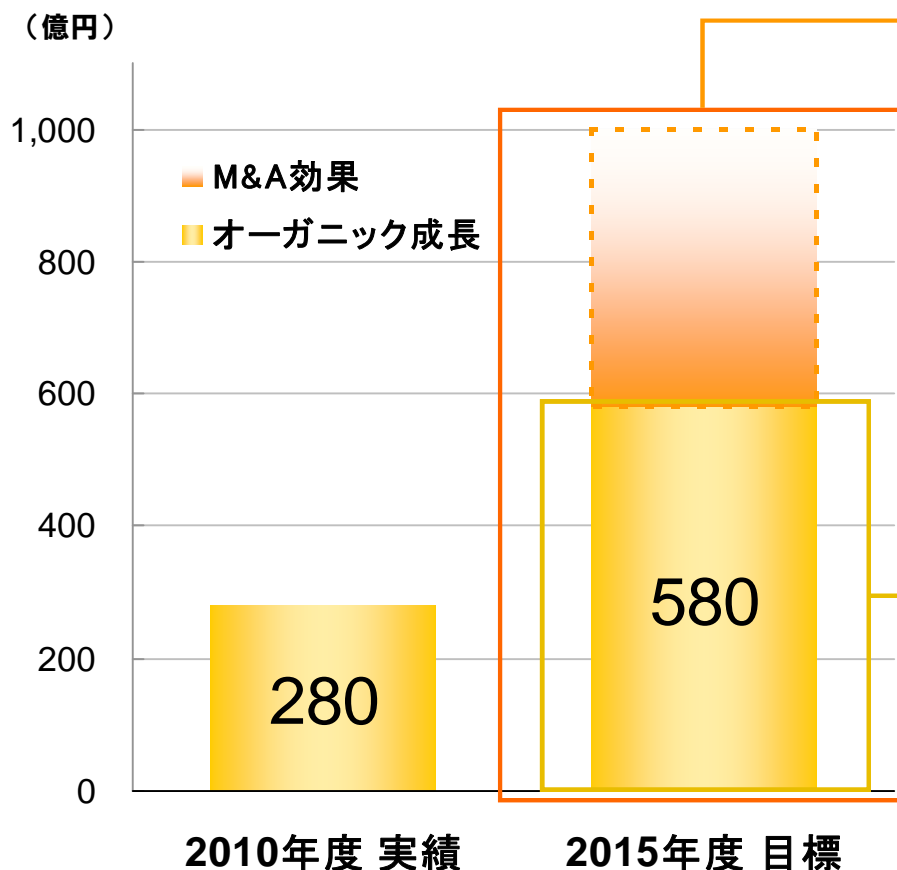
(注) 2014年3月期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

2011年度スタートの中期経営計画 前提

中期目標

- 日本企業から真のグローバル企業へ
- グローバル売上1000億円企業となる

売上見込および目標



グローバル売上1,000億円企業となる

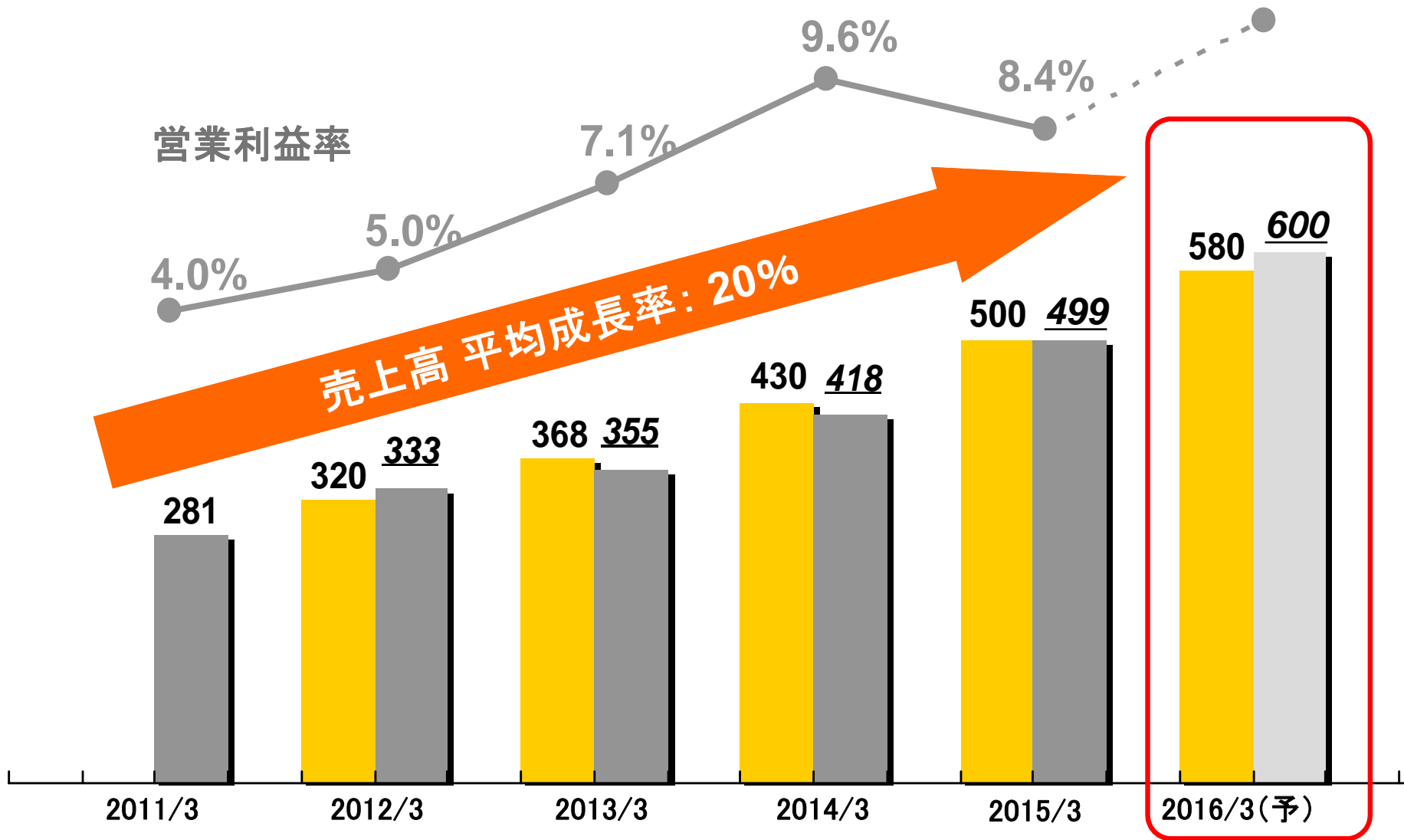
オーガニック成長の売上580億円に加え、積極的なM&Aによるさらなる拡大を進め、売上1000億円を超える企業となる

日本企業から真のグローバル企業へ

キトーがグローバルNo.1のホイストメーカーになるために、今後の5年間は事業規模拡大の大きなチャンスである。日本発の海外事業拡大から、世界各地のリソースを活用した事業拡大へと転換していく

中期経営計画の進捗状況

最終年度は、M&Aによる成長も取り込んで、
当初計画比増の600億円、平均成長率は20%に



参考資料：取扱製品

取扱製品の分類		手動製品	電動製品	クレーン、その他
標準製品	顧客の一般的なニーズに対応した規格製品	 <p>手動チェーンブロック</p>  <p>レバーブロック</p>	 <p>電気チェーンブロック</p>  <p>ロープホイスト</p>	  <p>スリング製品</p>  <p>サドル・クレーンコンポーネント</p>
		 <p>手動チェーンブロック(100t)</p>	 <p>ライトクレーン</p>  <p>天井走行クレーン</p>	 <p>システムクレーン</p>  <p>マニピュレータ</p>
特殊製品	顧客の様々なニーズに合わせてオリジナル設計・制作した製品			
その他	アフターサービス等	各種部品の提供、メンテナンス等		

 = 当社の主要製品

For the Global Next Stage

KITO

KITO group global unified slogan

常にお客様の期待を上回る価値を提供し続け、市場におけるキトーブランドの価値を最大化し、「真のグローバルNo. 1のホイストメーカー」を目指します。